

助手席側

製品特徴

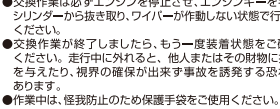
- この製品は、自動車のウィンドウについた雪を拭くために開発・製造されたものです。
- 雪の付着を防止するために金属部分をゴムで覆ってあります。
 - ワイパーのモーターに負担をかけないよう、雨用ワイパーよりフッ素サイズ（約25mm）短いもの、もしくは同一長で設定しています。

この度は、ウィンターブレード雪用ワイパーをご購入頂き誠にありがとうございます。
交換作業を行う前に、以下の説明を必ずお読み頂き正しい作業をおこなってください。
また、この説明書は作業後も大切に保管してください。

安全に関する表示

	注意 記載事項を守らないと、傷害、事故につながるおそれがあること
	アドバイス 車両の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと お車が故障したときにしていただきたいこと
	知識 知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

部品名称



注意

- ワイパーブレードには、ガソリン、オイル等の油脂類、ワックス、パーツクリーナー等溶剤の入ったケミカル類が付着しないようにしてください。油脂類がつくとブレードが変形・変質し、拭き能力が低下します。特に夜間走行時などには、事故誘発の危険があります。
- ワイパーブレード本体を曲げるなど、変形させないでください。拭き能力が低下します。
- ワイパーブレードの接合部や加齢部は、分解しないでください。
- この製品は、自動車のウィンドウについた雪を拭くためのものです。目的以外の用途では絶対に使用しないでください。

アドバイス

- ワイパーアームのリップ部（図参照）が灰色になっていますが、これはワイパー表面についている「グラファイト粒子」です。性能低下の恐れがありますので、タオル等で無理に拭き取らないでください。
- ガラス面の状態により、まれにワイパーの折り返し点に黒いスジを生じることがございます。これはグラファイト粒子が付着したものです。付着した場合はウエス等で拭き取ってください。
- 本品は新車時に装着されているメーカー純正品に準じた形状のワイパーです。純正品以外のワイパーに交換されている場合は、適用の異なることがあります。
- ワイパー交換時に不具合が生じた場合は、すぐ作業を中止してください。故障、傷の原因となります。

知識

ワイパーは消耗品です。
一年ごとの交換をおすすめします。

交換の前に

柔らかい布、手袋をご用意ください。

注意

- 交換作業は必ずエンジンを停止させ、エンジンキーをキーリングから抜き取り、ワイパーが動作しない状態で行ってください。
- 交換作業が終了したら、もう一度装着状態をご確認ください。走行中に外れると、他人またはその財物に損害を与えたり、視界の確保が出来ず事故を誘発する恐れがあります。
- 作業中は、怪我防止のため保護手袋をご使用ください。

アドバイス

- 作業中はウィンドウガラスやボディ保護のため、柔らかい布等をウィンドウガラス及びボンネットに敷いてから作業を始めてください。

■交換作業

- ウィンターブレードへの交換箇所を長さからご確認ください。
※運転席側が一番長いブレードになります。
- ワイパーアームが立てられる車両の場合は、静かに立ててから作業を行ってください。ワイパーアームを立てる際強い力を加えたり、ストッパー部以上に立てるとスプリングが外れる場合があります。
- ワイパーアームが立てられない車両の場合、ワイパーを動作させ、脱着可能な位置でエンジンスイッチを切り、キーを抜いてから作業を行ってください。
- エンジンスイッチを切ってもワイパーが脱着可能な位置で停止しない場合は車両取扱書に記載されている操作説明に従ってワイパーをサービスポジションまで移動させてから作業を行ってください。

■交換作業終了後

- ウォッシャー液等で水分をかけながらワイパーをハイスピードで動作させ、車のボディやウィンドウ周りに接触しない事をご確認ください。

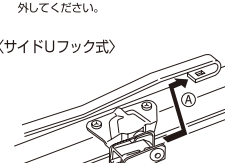
■古いワイパーの廃却方法

- 各地域の分別ルールに従って廃却してください。

989105-3360

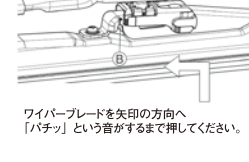
交換方法

〈トップUフック式〉



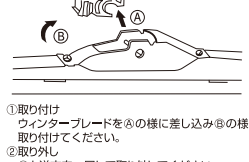
- ①取り付け
アームのU字部に引っ掛けるように差し込み「パチッ」という音を確認してください。
- ②取り外し
④部を押し、ワイパーブレードをアーム側へ下げて取り外してください。

〈トップUフック式（背低タイプ）〉



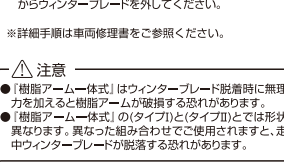
- ①取り付け
④部を上げ、アームのU字部に引っ掛けるように差し込み、④部を「パチッ」というまで下げてください。
- ②取り外し
④部を上げ、ワイパーブレードをアーム側へ下げて取り外してください。

〈サイドUフック式〉



- ①取り付け
アームのU字部に④のように差し込み「パチッ」という音を確認してください。
- ②取り外し
④部を押し、ワイパーブレードをアーム側へ下げて取り外してください。

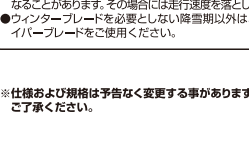
〈エアロスリム式〉



- 【取り付け】
- アームの突起
- ワイパーブレードを矢印の方向へ「パチッ」という音がするまで押してください。
- 【取り外し】
- ④部ロックを押しながら、ワイパーブレードを矢印の方向へ移動させて外してください。

〈樹脂アーム一体式〉

（タイプⅠ）



- ①取り付け
ウィンターブレードを④の様に差し込み⑤の様に回して取り付けてください。
- ②取り外し
⑤と逆方向へ回して取り外してください。

（タイプⅡ）



- ①取り付け
A部を真上に持ち上げウィンターブレードのクリップ部をワイパーアームに奥までしっかりとめ込んでください。次にA部を下げ、ワイパーアーム先端にしっかりとめ込んでください。
- ②取り外し
A部をワイパーアーム先端から外し、真上に持ち上げてからウィンターブレードを外してください。

※詳細手順は車両修理書をご参照ください。

注意

- ▲「樹脂アーム一体式」はウィンターブレード脱着時に無理な力を加えると樹脂アームが破損する恐れがあります。
- 「樹脂アーム一体式」の（タイプⅠ）と（タイプⅡ）とは形状が異なります。真なった組み合わせでご利用されますと、走行中ウィンターブレードが脱落する恐れがあります。

アドバイス

- お車でお出かけの際には、ウィンドウガラスを拭いてください。
- ウィンドウガラスに油膜がついていると新しいワイパーでも拭きが悪くなります。
 - 砂・ほこり等異物がついたままワイパーを動作させるとウィンドウガラスにキズがついたりワイパーの劣化を早める恐れがあります。
 - 駐車時はワイパーアームを立てて凍結を防止してください。
 - 高圧洗浄機をお使いになる場合は、ワイパーアームを必ず立てて、ワイパーブレードには直接、水を掛けないでください。
 - ブレードに雪や氷が付着したとき、ガラス面にたたき付けて落とすと、ブレードが変形し拭き性能の低下やガラス面の傷付きを招く恐れがあります。

知識

- 高速走行時は、通常のワイパーブレードより拭き取りにくくなる場合があります。その場合には走行速度を落としてください。
- ウィンターブレードを必要としない降雪期以外は、通常のワイパーブレードをご使用ください。

※仕様および規格は予告なく変更する事がありますので、ご了承ください。